

【実施報告】2019.11.24 LAB to CLASS プロジェクト主催
海を学ぼうスクール in 中野区～海と日本 PROJECT／海の生きもの KIDS ワークショップ

もっと知りたい！サンゴのふしぎ

講師：大堀健司（エコツアーふくみみ）



概要

国内にサンゴ礁がある日本。もっと身近に感じられるように、想像力でサンゴ礁の世界を作り出してみました。《サンゴクイズ》でサンゴの基礎知識を確認。『サンゴの進化じゃんけん』で〈卵－幼生－成体〉への変化を体験。《サンゴのパネルシアター》でサンゴの生態、サンゴ礁の役割、そして環境問題をじっくり学び、《どーなる？コーラル サンゴ生き残りゲーム》でサンゴ増減の原因と再生力を体感しました。これらのプログラムは、サンゴに興味を持ち、サンゴ礁を守りたいと思える子どもたちを増やすことが目的です。

*文中《 》内は、海洋学習教材「LAB to CLASS」の教材名です。

- ・ テーマ： サンゴ
- ・ 対象：小学1～6年生 18名
- ・ 会場：新渡戸文化学園10号館2階
- ・ 実施時間：2時間
- ・ 使用教材：サンゴクイズ／サンゴのパネルシアター／どーなる？コーラル サンゴ生き残りゲーム
- ・ 主な学習（紹介）テーマ：サンゴの生態、サンゴ礁の環境問題

活動の様子



◎サンゴクイズ

2 択のクイズでサンゴとサンゴ礁に関する基本的なことを学びました。不正解の回答にも至った理由があるはずですし、問題によってはどちらも正解の場合もあるのです。それらを丁寧に説明しながらクイズを進めました。自信たっぷりな場合、少し迷っている場合…立ち位置でそれぞれの思いを表現していました。



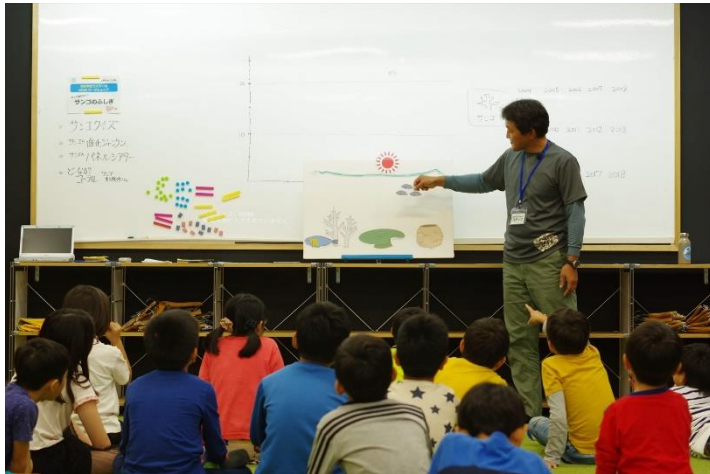
サンゴの一斉産卵から、幼生、群体サンゴに成長するまでの動画を見ました。生物としてのサンゴを意識してもらおう時間です。



◎サンゴの進化じゃんけん

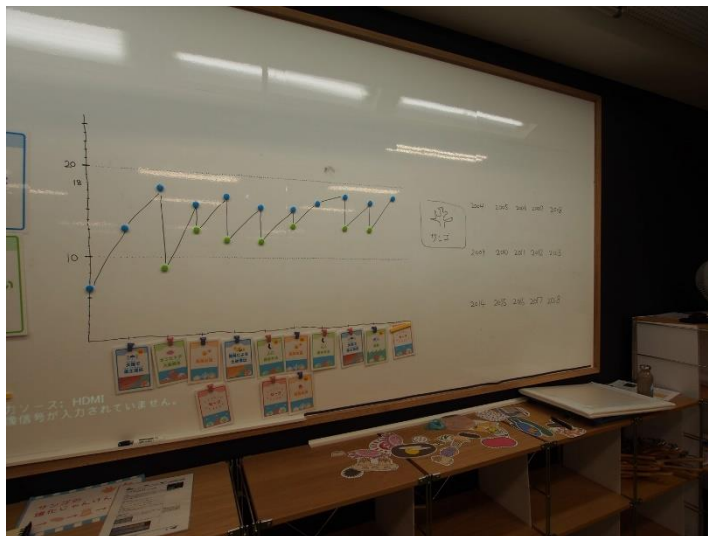
開発途中の活動です。一人一人がサンゴの卵からスタートし、じゃんけんに勝つと成長していきます。最後は全員でサンゴ礁になってみました。

そして子どもたちから意見をもらい、ルールを変えてもう一度実施。一つの学習活動を作り上げる場にも参加してもらいました。



◎サンゴ礁パネルシアター

たっぷり体を動かしたので、パネルシアターで静かな時間としました。サンゴの生態に加え、サンゴ礁の生態系と環境問題の話をしました。問いかけると積極的に答えてくれる姿勢がうかがえました。



◎どーなる？コーラル サンゴ生き残りゲーム

サンゴが成長するために不可欠な環境条件を悪化させる様々な環境問題。それらに対応してサンゴの数が増減することを、参加者一人一人がサンゴになって体感する活動です。「オニヒトデの大量発生が実際のことのようだった」「いろいろな被害があると思った」などの感想ががありました。



◎2016年に石垣島で起きたサンゴの白化現象

近年実際に起こった白化現象と、それに直面した地元の子どもたちの様子を見てもらいました。楽しかったゲームでの体験と実際に起こっていることをリンクさせる時間となりました。

実施後の感想

実際の“サンゴ礁体験”を伴わない、一度きりのサンゴの学習。サンゴやサンゴ礁に興味を持ってもらい「サンゴ礁に行ってみたいな」と思ってもらうことを重視しました。参加者の子どもたちはどの活動にも積極的に関わり、活動後に「どんなサンゴ礁の生きものになってみたい？」と問いかけると、サンゴを含め様々な生きものを選び、その理由からも私が話したことをしっかり受け止めてくれている様子が伺えました。

進行表

所用時間	内容		詳細	備考
2分	導入	挨拶	自己紹介	
3分		教材の紹介	・「実際にサンゴを見たことがある人は手を挙げて」 ・「サンゴ礁からは遠いこの部屋をみんなの想像力でサンゴ礁にしてみましょう」 ・4つのアクティビティを行うことを伝えた	
15分	アクティビティ	サンゴクイズ	・クイズ1問ごとに解説を行った ・間違った人に不正解しやすい理由があることを説明してフォローした ・リズムよく軽めに体を動かしアイスブレイクの時間とした	教材のフリップボード
5分	体験	サンゴの動画	・「BBC ブルー・プラネット 6.CORAL SEAS」からサンゴの産卵とブラヌラの着底、群体サンゴへの成長のシーンを見せた ・着底したブラヌラがポリプに成長するシーンではみなが驚いていた。	PC DVD
15分		サンゴの進化じゃんけん	・現在開発途中の活動であると告げ、実際にやってみてみんなから改善点を聞きたいと伝えた ・用意した方法（卵→ブラヌラ→ポリプ→群体サンゴ）で一回実施した ・意見を聞くと以下のような意見が出た 「群体サンゴのポーズは寝転がって手足を上突き出す方がいいのではないか」→動画の印象を再現していると思われる 「ポリプと群体サンゴの間にサンゴというもう一段階を入れた方がよいのではないか」 ・意見を取り入れてもう一度実施した ・「みんなの意見を考慮して新しい活動として完成させていく」	説明ボード 魚の被り物
5分	休憩			

10 分	ア ク テ ィ ビ	サンゴの パネルシアター	・「クイズやゲームで知ったサンゴのことを少し静かに振り返ってみましょう」 ・全員真剣に話を聞き、問い掛けると積極的に発言してくれた ・子どもたちの発言はすべて拾い、パネルシアターに反映させた	パネ ル シ ア タ ー 教 材 一 式
30 分	テ ィ 体 験	どーなる？ コーラル サンゴ生き残りゲー ム	・「プラスラからサンゴに成長するための環境条件を考えてみよう」 ・3つの条件を説明しゲーム開始 ・10ターン行い、偶然最後は全員がサンゴに成長して終えることができた ・「楽しかった」「オニヒトデの大量発生が実際のことのようだった」「いろいろな被害があるなど思った」	ゲ ー ム 教 材 一 式
10 分	ま と め	プレゼンテーショ ン:2016 年石垣島で のサンゴの白化現象	・2016 年に高海水温により起こった白化現象の様子や地元の子どもの反応を見てもらった ・実際にサンゴへの被害が増えていることだけでなく、そこから立ち直ろうとするサンゴのたくましさを見せてプログラムを終了した	PC
20 分	ふりかえり		・自分がもしサンゴ礁の生きものになれるとしたら何になりたい？ ・その理由も書いて下さい ・「サンゴ：長く生きられるから」などサンゴの生態を理由にしたり、「ブダイ：死んだサンゴを食べてサンゴ礁をきれいにするから」などサンゴを危機から守る生物を選ぶ子がいた ・最後に「サンゴガーディアンズスクール」のステッカーを配布した	

※サンゴガーディアンズスクール：石垣島で行われているサンゴの学習プログラム名、および対象指定校。